

令和5年第5回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和5年4月25日(火)

午後1時30分～

場 所 金浦公民館 軽運動室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第18号 にかほ市社会教育委員の委嘱について
- 第 3 議案第19号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について
- 第 4 議案第20号 フェライト子ども科学館運営委員会委員の任命について
- 第 5 議案第21号 にかほ市象潟郷土資料館運営協議会委員の委嘱について
- 第 6 議案第22号 にかほ市生涯学習奨励員の委嘱について
- 第 7 議案第23号 にかほ市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
- 第 8 議案第24号 にかほ市学校運営協議会委員の任命について
- 第 9 議案第25号 令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 10 協 議 にかほ市学校環境適正化に関する提言について
- 第 11 報 告

令和5年4月25日招集

令和5年第5回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和5年第5回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和5年4月25日 火曜日
2. 場 所 金浦公民館 軽運動室
3. 開 会 午後 1時30分
4. 閉 会 午後 3時20分

5. 出席委員 職務代理者 伊 藤 知
委 員 佐 藤 道 彦
委 員 小 松 雅 子
委 員 佐 藤 緑

6. 説明のための出席者

教 育 次 長	佐 藤 喜 仁
教育総務課長	今 野 和 彦
学校教育課長	菱 刈 宏 記
学校教育課副主幹	須 藤 智 博
生涯学習課長	山 田 高
仁賀保公民館長	佐々木 美 和
象潟公民館長	佐々木 和 則
フェライト子ども科学館長	鎌 田 昭 義
白瀬南極探検隊記念館長	佐々木 真紀子
文化財保護課長	齋 藤 泉

7. 書 記 教育総務課副主幹 加 賀 真珠美

8. 会議に付した議案

- 議案第18号 にかほ市にかほ市社会教育委員の委嘱について
- 議案第19号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について
- 議案第20号 フェライト子ども科学館運営委員会委員の任命について
- 議案第21号 にかほ市象潟郷土資料館運営協議会委員の委嘱について
- 議案第22号 にかほ市生涯学習奨励員の委嘱について
- 議案第23号 にかほ市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
- 議案第24号 にかほ市学校運営協議会委員の任命について
- 議案第25号 令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

9. 可決した議案

- 議案第 18 号 にかほ市にかほ市社会教育委員の委嘱について
議案第 19 号 白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員の任命について
議案第 20 号 フェライト子ども科学館運営委員会委員の任命について
議案第 21 号 にかほ市象潟郷土資料館運営協議会委員の委嘱について
議案第 22 号 にかほ市生涯学習奨励員の委嘱について
議案第 23 号 にかほ市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
議案第 24 号 にかほ市学校運営協議会委員の任命について
議案第 25 号 令和 5 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

10. その他の確認事項

- (1) 令和 5 年第 6 回教育委員会は令和 5 年 5 月 29 日（月）午後 1 時 30 分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後 14 時 00 分】

【教育長】

これから令和 5 年第 5 回にかほ市教育委員会を開催いたします。今回の出席委員は、5 名です。議会日程の第 1、会議録署名委員の指名を行います。委員には、伊藤委員と佐藤道彦委員をお願いいたします。書記には、事務局の加賀副主幹を指名いたします。それでは、日程の第 2「議案第 18 号 にかほ市社会教育委員の委嘱について」から日程の第 5「議案第 21 号 にかほ市象潟郷土資料館運営協議会委員の委嘱について」までの 4 件を一括して議題といたします。教育総務課長から説明をお願いいたします。

(教育総務課長 説明)

【教育長】

説明が終わりました。質疑等ございませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第 18 号から議案第 21 号までの 4 件については、異議がないものと認め、原案のとおり承認することに決定いたします。

日程第 6「議案第 22 号 にかほ市生涯学習奨励員の委嘱について」を議題といたしま

す。生涯学習課長から説明をお願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

説明が終わりました。議案第 22 号について、質疑等ございませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第 22 号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定いたします。

次に日程第 7「議案第 23 号 にかほ市教育研究所運営委員会委員の委嘱について」から日程第 8「議案第 24 号 にかほ市学校運営協議会委員の任命について」までの 2 件を一括して議題といたします。学校教育課長から説明をお願いします。

(学校教育課長 説明)

【教育長】

説明が終わりました。質疑等ございませんか。

(なしの声)

【教育長】

それでは、議案第 23 号から議案第 24 までの 2 件については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定いたします。

次に日程第 9「令和 5 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について」についてを議題といたします。学校教育課長から説明をお願いします。

(学校教育課長、担当 説明)

【教育長】

質疑・意見等はありませんか。それでは、議案第 25 号については、1 件は認定却下といたします。

次に日程第 10「協議」に入ります。3 月に提出された、「にかほ市学校環境適正化に関する提言」について協議したいと思います。教育総務課長から説明をお願いします。

(教育総務課長 説明)

【教育長】

ただいま説明がありましたが、お一人ずつご意見などありましたらお願いいたします。

【小松委員】

統合は致し方ないことと思いますが、過去の事例もみますと、親御さんよりも地域の方々の住民感情、意見のほうが厳しいものがあるという印象です。反対意見が出るのは当然のことでもあると思うので、丁寧に説明をしていかなければならないと思います。地域のお祭りのことになりますが、今から 20 年前であれば、最低でも 30 名程度の子どもが御神輿を担ぐために集まっていたと思います。しかし今年は 2 名だけです。地域のお祭りが存続できないということだと思います。これから学校の統合によって、存続できなくなる地域のお祭りや行事が出てきてしまわないように、今のうちに行事を拾っておいて、それをどう存続させていくか、継続できなくなってもやむなしと考えるか、その点を考えておくと、地域の方々に説明をしていく際によいと思いますのでご検討いただければと思います。

【伊藤委員】

少子化に伴い、統合は進めなければならないことだと思います。しかし、統合の裏には、統合したときの建物の位置についての問題もあり、これから 5 年間というスパンで進めることは難しいのではないかと思います。距離的な問題もあり、今ある学校にまとめましょうと簡単に進めることは難しいのではないかと思います。3 町合併協議の例もありますので、学校の位置までをしっかりと決めた状態で話し合いを持っていかないと大変だと思います。子どもの数は減るけど、小学校は 1 学年 2 学級、中学校は 3 学級という基本を守りつつ、場所を含め、市の財政面も含め、どうしていくのかを考えていかなければいけません。教育委員会だけではなく、市長部局も含めたかたちで建物についても話を進めていかなければならないと思います。また、学校の持っている特色や文化も非常に大切になってきますが、その文化というのは、その地域がつくってきたものを、小学校、中学校が取り入れているものです。その地域の文化を守ることは地域の大人たちだと思います。子どもたちがいないからこの行事、文化を維持できないということではなく、どのように大人たちが考え、どう運営していくか、統合も含めて地域の活性化についても考えてもらわないといけないと思います。つまり、統合をすると地域が廃れると言われていますが、それは大人のエゴであって、学校がなくても地域を活性化する方法はいくらでもあると思います。学校の統合は必要と考えていますが、地域の活性化も含めたかたちの説明の仕方、理解を求めていくということが、とても重要になってくる点だと思います。その点について我々もできる限りの力を貸していきたいと思っています。

そして先日、県立高校の統合についても新聞に掲載されました。小中連携をしている矢島高校は除いて、仁賀保高校はじめ、由利工業高校、西目高校、本荘高校と私たちの住むこの地区の全ての高校が対象に含まれています。統合するときには我々は仁賀保高校も含めた小中高の連携の統合の仕方というものも、仁賀保高校を残すために考えていか

なければならないのではないのでしょうか。それも頭の片隅に入れておかなければならないと思います。

【佐藤緑委員】

統合を避けられないということは、多くの住民の方も分かることだと思います。しかし、場所のことになると大人の駆け引きが出てくると思います。一番に考えなければいけないのは、未来のにかほ市を背負って立つ子どもたちにとって一番良い教育環境、子どもたちにとっての学習環境を、いかにあるべきかということ丁寧を考えていく必要があると思います。複式学級は避けなければいけない、免許のない先生が授業をするということも避けなければならないことだと思います。そういったことは頭では理解していても、大人側としては、どこに建設するのかという点では駆け引きが出てくると思います。検討委員会の際に、経済的な面も重要だとおっしゃる方もいました。確かにそこも考えていく必要があると思いました。統合は令和10年程度を目標にするというお話でありましたが、仁賀保高校についても、県から情報をいただきながら、にかほ市としては仁賀保高校を大切にしていきたいという思いがありますので、そこも含めて考えていっていただきたいと思います。

統合ありきで突き進めるのではなくて、あまり急がないで子どもたちを大切に、丁寧に考えて進めていかなければならない問題だと思います。

【佐藤道彦委員】

皆さん仰っていることと相違はありません。統合は避けられないことだと思います。ただ、何が適正化かというところが自分なりにまとまっていません。先ほどの説明からも、人数だけのことではないということでした。これは地域差もあると思います。自分が住んでいる地域では、実際にかほ市で統合の話があると聞いて驚かれる地域の方もいます。昨年生まれた子が100人をきっていると話しをすると「ああ、そうなんだ」という感覚です。今、佐藤委員からもあったように、統合は避けられないことではありますが、あまり急がず進めていただきたいと思います。やはり地域にとって学校がなくなるということは非常に淋しいことでもあります。どの場所に建てるかというところで、かなり大きな問題になると思います。バス通学なり、親御さんの送り迎えをするという地域も出てくるわけです。そうすると、もしかしたら、子どもたちにも負担になるところが出てくるのではないかと考えるところです。やはり子どもたちのことを第一に議論して進めていってほしいと思います。皆さんの幅広い意見を聞きながら段階を踏んで進めていただきたいと思います。

【教育長】

皆様からの話のなかで仁賀保高校のご意見まで出していただきまして、大変参考になります。この後、皆様からのご意見を取り入れて適正化基本計画の作成を進めて参りますので今後ともよろしくお願いたします。

次に、日程第11「報告」に入ります。はじめに私から報告いたします。
(教育長 報告)

それでは、教育総務課長から、順次「報告」をお願いします。
(教育総務課長から順に報告)

ただいま各課から報告がありましたが、確認したいことや詳しく聞いておきたいことなどはございませんか。

ないようですので、これで「報告」について終わります。

以上で、全ての審議が終わりましたが、委員の皆さんから何かありませんか。

ないようですので、次回の教育委員会の開催について、5月29日(月)午後から金浦公民館で開催したいと思います。

以上で、本日の委員会に提案された議案の審議は全て終了しましたので、これをもちまして、第5回にかほ市教育委員会を閉会します。

【閉会 午後3時20分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

” 委 員 佐藤道彦
” 委 員 伊藤 知

Light Right

第5回教育委員会
令和5年4月25日（火）

○教育委員会の開催にあたり

齊藤光正先生の教育に対する情熱、にかほの子どもたちの未来を創る教育行政の取組みを継承し、教育委員会の会務を総理しながら、にかほ市の教育の発展を、教育委員のお力添えをいただきながら進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

教育委員の皆様は、委員会の重要事項の意思決定を担う責任者であります。教育委員会における審議の活性化に寄与していただくとともに、教育行政の内部にいる職員では持ちにくい、それぞれの視点から、地域の抱える課題を捉え、改善の方向性と方法を探り、民意を反映した教育行政を実現していくために、プラス思考での委員会運営を、重ねてお願いいたします。



○アイコンタクト

i (あい) con + act

私は、「アイコンタクト」をモットーに生活してきました。小学5年生からバスケットボールを通じたコミュニケーションの重要性を感じていました。教員生活では、常にアイコンタクトを意識してきました。基本である「目と目で通じ合う」ことのみならず、様々な「あい」を粋に感じて、考えながら行動することが、現在のモットーです。

あい	→	目私	(めぐり、ささえ、わかち)	合い	愛	AI	etc.
con	→	consider	よく考える	+	(tをプラスと変換)	act	→ 行動する

教育委員会の皆様とも、常にアイコンタクトを意識した委員会運営を心がけて行きます。

○にかほ市教育大綱 (令和4年2月18日) の確認

1 教育方針のキーワード

- (1) 恵まれた教育環境 → 教育密度が高い (少人数教育)
- (2) 広い視野から豊かな発想 → 広い視野とはどんな視野? (多様な考え方)
- (3) 心身ともに健やかに成長できる環境の整備 → ハード面のスピード感
- (4) 若年層から地域資源について学ぶ → 知恵者の導入、地域連携
- (5) 保護・保全の意識の高揚 → 自分事として考え、行動

2 具体的な施策

(1) 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

- ①地域と密着した教育環境の整備
- ②外国語、I.C.Tについての理解と活用
- ③徳育の充実
- ④体力の向上

①～④を「社会を生き抜く力の素」と定義

ふるさと教育のにかほ版 → 地域資源（自然、産業、文化、先人）を知る

(2) 多様な学習機会の提供

- ①若年層が生涯学習事業に参加しやすい環境
- ②各年代のニーズにあった学習内容の充実

(3) 伝統文化の保存・継承

- ①にかほの歴史・文化、自然、先人の調査・研究
- ②講座・学校教育での活用

◎ 「地域活性化への3案提言」について

4月12日（水）の新聞に教育、住まい方、新産業の3つの切り口で、新しいコミュニティづくりを進めるとして、紹介されました。

(1) スクール秋田

県全体を学びの場に見立てて、学校に依存しない生涯教育プログラムを確立する。教育に対する意識の高さや豊かな自然環境など、秋田の強みを生かし、郷土愛の醸成や関係人口の増加につなげる。

(2) 里山冬里

山間部の住民が、夏は地元、冬は別荘地のような里で過ごす新しい暮らしのスタイル。観光客や施設を用意したり厳冬期を楽しめるイベントの企画をとって、人の往来を増やす。

(3) グローバル・コンパクト特区

持続可能で多様な働き方である産業モデルを生み出すため、大学や研究機関を核とした研究開発型の拠点をつくる構想。廃校も研究拠点として活用し地域産業の変革につなげる。

◎ 第8次高等学校総合整備計画について

4月21日（土）の新聞に、記事が掲載されました。報告書は、佐藤修司秋田大学院教授から安田教育長に渡され、これを踏まえて2025年度までに、2026～35年の整備計画を策定することになります。生徒数減を前提に統合や地域校の検討が盛り込まれたようですが、由利工業、西目、仁賀保の統合に関する提案、本荘と由利の統合、矢島の地域校化が紹介されていました。今回の提言は、経済学をベースにした費用対効果を重視した感が否めません。にかほ市と仁賀保高校の連携協定による地域活性化の実績を考慮すれば、義務教育や地域活性化への貢献度は、決して無視できないはずです。県教委の示す適正規模配置は、基本的な考え方にしても、学校教育に生涯学習的要素を導入した、現在の仁賀保高校の取り組みは、今後の県教育の方向性を先取りしたものと思います。文部科学省が進める地域貢献活動の趣旨を踏まえた、にかほ市内での高校の存続を強くお願いしたいと考えます。秋田県内には、25の自治体のうち13市がありますが、市レベルで県立学校の立地がない市は現在ありません。提案書通りに進むと、にかほ市が唯一高等学校のない市となってしまいます。児童・生徒が人生の生き方を「生涯学習」と大きく捉え、その中核を担う高等学校の存在がなくなることにより、多様な学びを提供できなくなるばかりか、にかほ市の活性化にブレーキをかけることとなります。教育委員会の委員の皆様には、にかほ市の教育の充実という観点から、今後のご対応にお力添えをいただきたく、お願いいたします。

教育総務課

1. 工事等の発注予定

○平沢小学校玄関等笠木修繕工事 ※5/12 入札

設計金額：¥3,300,000-

工事期間：契約日～8月25日

工事内容：笠木修繕 L=57.3m

○仁賀保中学校グラウンド脇トイレ解体工事 ※5/12 入札

設計金額：¥2,200,000-

工事期間：契約日～8月25日

工事内容：屋外トイレ建屋解体 A=40.57m²

2. 奨学生選考委員会 (4/26 開催)

○選考委員：5人 (教育委員・中学校長・民生児童委員・学識経験者2人)

○新規奨学生：16人 (継続申込65人)

大学院 0人 (0人) 月額50,000円以内

大学 6人 (40人) 月額50,000円以内

専門学校 7人 (11人) 月額50,000円以内

短大 0人 (6人) 月額50,000円以内

高専 0人 (0人) 月額50,000円以内 (1～3年生は30,000)

高校 3人 (8人) 月額30,000円以内

計 16人 (65人) ※ () は継続奨学生数

学校教育課

1. 事業報告

4月 4日 (火)	教育長学校訪問 (あいさつ及び転入職員歓迎)
4月 5日 (水)	にかほ市校長会
4月 6日 (木)	各小中学校始業式、にかほ市教頭会
4月 7日 (金)	各中学校入学式
4月 8日 (土)	各小学校入学式
4月12日 (水)	にかほ市校長会
4月18日 (火)	全国学力・学習状況調査
4月19日 (水)	全国学力・学習状況調査協同採点
4月22日 (土)	本荘由利中学校春季大会
23日 (日)	〃

2. 事業計画

4月25日 (火)	教育研究所運営委員会
4月29日 (土)	仁賀保中、金浦中、象潟中運動会
5月 8日 (月)	にかほ市教頭会 特別支援教育関係事業等運営委員会
5月 9日 (火)	情報教育推進委員会
5月12日 (金)	にかほ市PTA連合会総会
5月13日 (土)	平沢小、院内小、金浦小、象潟小運動会

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

3月31日（金） 令和5年度「にかほ市生涯学習のすすめ」

にかほ夢ギャラリー展示 4月 真珠会子ども書展
出展 真珠会

2. 事業計画

4月27日（木） 高齢者学級 金浦福寿大学 開講式&オリエンテーション
4月授業「悪徳商法に巻き込まれないために」
講師：にかほ市市民福祉部生活環境課職員

5月10日（水） ほんわっカフェ

5月11日（木） にかほ市生涯学習奨励員総会

5月20日（土） 放課後子ども教室 浜っ子クラブ
「ボードゲームではじめまして」

にかほ夢ギャラリー展示 5月「リトル・スージーサンボンネット」
出展 齊藤 智恵美

図 書 館

1. 事業報告

【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館 「読んでととのう心と体」

象潟分館 「マンガだけど！！まなべる！？コミックエッセイ」

こびあ 「父の日 母の日～改めて伝えよう「感謝」の気持ち～」

4月21日（金）ブックスタート事業（金浦保健センター） 3人参加

4月23日（日）令和5年度「どくしょポイントカード」スタート

対象：未就学児と小学生

期間：未就学児は小学校入学前、小学生は年度末まで

※ポイント付与ルール：未就学児は来館1回につき1ポイント

30ポイントで満点、記念品贈呈。

：小学生は貸し出し1冊につき1ポイント

100ポイントで満点、賞状と記念品贈呈。

2. 事業計画

【図書館】

4月26日（水）市内3図書館合同打ち合わせ会議

5月13日（土）おはなし会

5月20日（土）～26日（金）

春のリサイクルブックフェア 市内3図書館

5月23日（火）令和5年度秋田県図書館協会総会及び秋田県図書館長会議

秋田県生涯学習センター

仁賀保公民館

1. 事業報告

4月19日(水) 高齢者学級「むらすぎ学園」開講式・出前講座
参加者 44人

にかほ夢ギャラリー展示

4月 「写友にかほ写真展」 出展者 写友にかほ

2. 事業計画

4月25日(火) キッズ・まもーる「院内小学校」
27日(木) キッズ・まもーる「平沢小学校」
28日(金) にかほ市女性団体協議会総会
5月17日(水) むらすぎ学園「芸術鑑賞」
24日(水) 花の寄せ植え講座 1回目
25日(木) 公民館講座「ダンスエクササイズ講座」 1回目
27日(土) 公民館講座「にかほ再発見！自然観察会」 1回目
～むらすぎ荘から大日神社まで歩こう～
29日(月) キッズユートリック「はじめましての会&交流会」

にかほ夢ギャラリー展示

5月 「つるし飾り」 出展者 ロマンドールの会

仁賀保勤労青少年ホーム

1. 事業報告

○展示室入館者の実績

	R4	R3	増減	説明
4～3月計	537	239	298	
うち3月	37	5	32	

※2021年4月1日より市内来館者を無料としました。

○トレーニング室利用者の実績

	R4	R3	増減	説明
4～3月計	11,172	11,386	-214	
うち3月	1,118	1,035	83	

○トレーニング室利用登録者の実績

	R4	R3	増減	説明
4～3月計	432	412	20	
うち3月	44	39	5	

4月 6日(木) トレーニング新規利用者講習会 10名参加

2. 事業計画

5月11日(木) トレーニング新規利用者講習会

象潟公民館

1. 事業報告

- ・ 4月25日（火） 白寿大学開講式 記念講演
講師 F2-ZONE 代表取締役 海老名 保氏
講演 「にかほ市に育てられ にかほ市に生きる」
令和5年度登録学生67人中 52人参加

2. 事業計画

- ・ 5月20日（土） 友遊くらぶ はじまりの会「運動×遊び 頭と運動を動かそう」
令和5年度登録学生17人中 12人参加(5/25 現在)
- ・ 5月25日（木） 俳句講座 5/25、6/1、6/8、6/15(4回コース)
芭蕉ゆかりの地で俳句入門
～自分を発見！あなたも俳句を詠んでみませんか～
講師 齋藤みどり
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 5月 「文字のアートマンダラ」 出展者 見留 栄治

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

○ 入館者数の実績

	令和4年度	令和元年度	比較	増減率
令和4年度計	10,462	11,508	△1,046	△9.1%
うちR5.3	519	0	519	-

3月28日(火) 白瀬南極探検隊記念館運営審議会

3月31日(金) ミュージアム施設 合同ダイレクトメール便送付

4月15日(土) にかほ市桜フェスティバル ペンギンスタンプラリー

4月18日(火) Yahoo 地域ライター 取材対応

2. 事業計画

4月29日(土)～5月7日(日) ゴールデンウィーク期間中開館

5月12日(金) IBM ビジネスパートナーの会「愛徳会(あいとくかい)」
北海道・東北地区の総会・例会 講演依頼 いちゑ

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R 4	R 3	比較	増減率	説明
4～3月計	20,319人	9,649人	10,670人	110.6%	
うち3月	2,271人	454人	1,817	400.2%	

(2) 事業実績

- ・ 3月21日(火)～4月9日(日)

春休みの特別企画展「星座展-ギリシャ神話からキトラ古墳まで」
1,203人

- ・ 3月24日(金)～26日(日)

第81回全日本学生児童発明くふう展(科学技術館:東京都)

- ・ 入選「点字キット」 平沢小学校4年 松野 [REDACTED]

第45回未来の科学の夢絵画展(科学技術館:東京都)

- ・ 優秀賞「害虫げきたいスピーカー」

平沢小学校3年 須藤 [REDACTED]

- ・ 奨励賞「らくらくらくちん じどうがさ」

院内小学校2年 大石 [REDACTED]

- ・ 3月25日(土)

3Dプリンタ体験ワークショップ
「ネームプレートをつくろう」

29人

2. 事業計画

- ・ 5月(未定)

にかほ市科学振興委員会

- ・ 5月(未定)

WRO秋田県中央地区予選実行委員会